

桃山学院中学校・高等学校 DX 推進方針

策定の趣旨

第四次産業革命とも呼ばれるデジタル技術の発展の時代にあつて、教育は大きな変革期にあると言えます。画一的な教育手法から個別最適化された教育への転換など、デジタル技術の活用によって、生徒の学びの質を劇的に深化させることが可能になりつつあります。また、昨今の生成 AI の飛躍的な進化によって、教育は「在り方そのもの」が問い直されていると言っても過言ではないでしょう。

さらに、SDGs 活動にみられるように、これからの企業等は単なる利益追求のみならず、経済的活動と社会課題解決の両立が求められており、その解決策としてデジタル技術が期待されています。

このような背景のもと、文科省などにより「数理・データサイエンス・AI」教育の積極展開がなされており、こうした知識・技術は、大学等で高等教育を受けるための素養としてのみならず、変化の激しい社会で自分らしいキャリアを歩んでいくうえでも、今後ますます欠かせないものになっていくことが予想されます。

こうした理解のもと、デジタル技術を活用することで、生徒の学びや教職員の働き方をより良い方向に変革させるための本校の基本的な考えを示す「桃山学院中学校・高等学校 DX 推進基本方針」を策定いたしました。

基本方針

- 私たちは、デジタル技術の積極活用によって、生徒本位の学習環境を構築します。
- 私たちは、生徒がデジタルで他者と共創関係を築き、社会に新たな価値を創造していくための素養を育みます。
- 私たちは、教育サービス向上や業務改善・改革のために、常に最新のデジタル技術に関する理解に努めます。

本方針に基づき、各年度の事業計画において、実行計画を立案・実行し、DX を推進してまいります。

以上